

以下、備考欄コメント

施設・設備の整備

①利用定員は、指導訓練室などの面積との関係で適切であるか

- ・規定はクリアーしているが、子ども達、一人ひとり考えると十分ではないと思う
- ・特に雨天時等の屋外での活動が困難な日は大変狭いと感じている
- ・もう一つ部屋があると良いとおもう

②指導員の配置人数は適切であるか

- ・子ども12名に対し職員7名配置だが活動場所によっては1対1対応が必要な時がある
- ・規定はクリアーしているが、子ども達、一人ひとり考えると十分ではないと思う
- ・日によって違いはあるが足りていない日もあるように思う

③子どもにとって危険がともなうような施設や備品の損壊・故障はないか

- ・損壊などあった時は直ぐに対応している
- ・点検しすぐに危なくないよう修理している
- ・気づいたら即補修するようにしている
- ・事務局長に相談しながら進めている
- ・廊下がささくれてきたので心配

④ガラス窓や照明器具などの破損によるガラスの飛散が起こらないような対策をとっているか

- ・強化ガラス及び飛散防止シートを使用
- ・サッシなどを叩かないようにしている

⑤子どもの行方不明や部外者の勝手な侵入がおこらないような対策をとっているか

- ・無いとは思っているが対策は分からない
- ・対策とまではいかないが職員が担当の子どもを中心に周りの状況や子どもの動きに気を配っている
- ・各担当が責任をもって対応しているが、コロナ対策で玄関や窓の換気のため開けているので心配ではある。もし、侵入者が入った場合にはサスマタは常備している

活動の全体状況の整備

⑥倫理綱領の策定、虐待防止委員会、虐待防止責任者の選定をしておくか

- ・倫理綱領は職員全員にプリント配布。虐待防止研修会に出席し責任者を決めている
- ・あると思うが勤務歴が浅いためわからない
- ・委員会と責任者は分からない

⑦虐待防止マニュアルを策定するとともに逆待防止するための研修を行っているか

- ・年に1度、行っている
- ・研修とまではいかないが、会議やミーティングなどで話し合っている
- ・チェックシートを使い、職員会議で話し合ったことがある

⑧防火・防災マニュアルの策定をするとともに、火災・地震に対する訓練を定期的に行っているか

- ・コロナのため今年度は行っていない
- ・例年2回の火災及び地震の避難訓練を行っている

⑨感染防止マニュアルを策定するとともに感染を予防するための研修を行っているか

- ・感染防止マニュアルのプリントを全員に配布し職員会議で確認した

⑩個人所違法保護指針を策定しているとともに、個人情報の取扱いに十分に配慮しているか

- ・職員に個人情報についての念書を入職時に書いてもらう。
- ・実践記録など、公に目の触れる場合には、保護者に承諾を得ている

- ・個人情報の持ち出しや公言することは禁止になっている
 - ・鍵のかかる書庫に保管している
- ⑪**子どもの事故やケガにつながる恐れを感じたときは、責任者に伝えているか**
- ・ヒヤリハットなどでその都度ミーティングで報告している
 - ・責任者以外にもミーティングで周知している
 - ・大きな声を出して助けを求めるようにしている
- ⑫**食物アレルギーのある子どもには保護者の指示に基づいて対応しているか**
- ・入所時の保護者面談にて聞き取りをしている
 - ・おやつなどの食べ物については、別の食材を用意している
 - ・職員がいつでも見られるカードに記入している
- ⑬**子どもの記録は書いているか**
- ・日々の保育日誌及び月間、年間を記録し、5年間の保管をしている

実践的な力量の向上

- ⑭**子どもの事が分からないと感じたとき、早わかりしようとせず（どうしてなのか）と自らに問い続けているか**
- ・日々問い続け、保育日誌に記入している
 - ・早く結論付けないで、しばらく考え続けるようにしている
 - ・しているつもりだが、（どうしてなのか？）といつも後になって問い続けていることばかりだ
 - ・早く答えを出したくて、自己解釈してしまう。
- ⑮**子どもの事が分からないと感じた時に傍観するのではなくて働き続けて変化を作り出して、理解しようとしているか**
- ・一緒に遊ぼうとしたり、楽しそうな遊びを勧めたりしている
 - ・しているつもりだが、その場だけで、ちゃんと意図を持って出来ているのかと自分でわからない時がある
 - ・子どもの好きな物や世界と一緒に遊び入れてもらい、共感し理解していく
 - ・出来ているかいないか悩んだため、わからないに記入した
 - ・声掛けはしているが、あまりうるさく言わないようにしている
- ⑯**子どもの事が分からないと感じたとき、独りよがりの判断をせず、他の職員に意見を聞くなどしている**
- ・他の職員の意見を聞いたり、関連する本を読むようにしている
 - ・なるべく複数の職員に聞くようにしている
 - ・その時にあったことや悩んだことなどを相談している
- ⑰**子どもの問題行動に出会うとき、その内側にその子の願いが隠されていると考えて内面を探ろうとしているか**
- ・問題行動は、表面的な行動ととらえ本当に困っていることを探っている
 - ・行動の意味。なぜそうしたかをまず自分自身で考えるようにしている。じっくりこない時は他の職員の意見をうかがう
 - ・しているつもりだが、その場ではなく、後からになってしまっている。
 - ・発達の凸凹に苦労し喘いでいると解釈、まずは目先の問題（きっかけ）で解決できることを探り、本質を見抜いていけるよう努力している。
- ⑱**子どもの問題行動に出会うとき、わが身に引き寄せるなどして、その理由を共感的に理解しようとしているか**
- ・行動の意味。なぜそうしたかをまず自分自身で考えるようにしている。じっくりこない時は他の職員の意見をうかがう
 - ・発達年齢や職員の意見や学習会で学ぶ
 - ・自分の子どものころを思い返し重ねてみる
- ⑲**子どもの表面的な事がらを並べるのではなく、働きかけて、肯定的事実を作り出しそれを意味づけようとしているか**

- ・日々の保育日誌に記録し月間のまとめで振り返る
- ・まだまだ表面的な所だけをみていると反省
- ・決定的な肯定的事実を見つけ出し、真実を見つけようとしている

⑳ 気持ちの育ち（人格形成）には、その子固有のテンポがあることを押さえて、子どもを理解しようとしているか

- ・その子の切り替えのポイントなど職員間で確認している
- ・ほかの子どもと比較して考えるのではなく、その子はその子として向き合っていて関わっている
- ・まだまだ発達年齢の勉強も必要だと反省

㉑ 子どもの発達、ひたすら前進するのではなく、新しい矛盾を抱え込むと押さえて、子どもを理解しようとしているか

- ・出来ていたことが、発達により怖くてできなくなるなどの新たな矛盾を抱え込む
- ・発達は行きつ戻りつ、新しい矛盾を抱え込むということを知識、経験からも知っているので、この点を押さえて関わり、理解しようとしている
- ・しようとしているが、子どもの発達について行くことが必死
- ・出来ていたことが、出来なくなった時は発達の節目ととらえ職員間で共有している
- ・マイナス的な問題ではなく、プラス思考でできなくなったことをとらえる

㉒ 学校で頑張ってきたあとの活動と言う、生活の流れを意識して子どもを理解しようとしているか

- ・精神面。体力面などに配慮している
- ・学校だけでなく家庭も含めた全体の流れからもとらえようとしている
- ・学校見学会や行事で、子どもの姿を見て、頑張っている様子を実感している

㉓ 大人の目の育ちにに応じてしか子どもが見えてこないという自省的な意識を持って、子どもを理解しようとしているか

- ・自分の子どもに対するとらえ方は正しいかという視点を常に持っている
- ・同じ子どもの行動でも見る大人によって違って見える。大人の学習（力量）が必要
- ・自分自身の見幅を広げていかないと理解できないと思っている
- ・発達を踏まえ、研修の機会を増やす事。自覚が大切と思う

㉔ 遊びや生活を通じて子どもの育ち（人格の形成）をはかっていくことを意識して子どもに働きかけているか

- ・ただ遊ぶ、生活するのではなく、その子に応じたかかわりをしている
- ・楽しい遊び、仲間とのやり取り等
- ・その子だけでなく、相手の仲間など気持ちの代弁や共感で声掛けしている。
- ・「楽しい」「やりたい！」と心がワクワクする活動設定から子ども自らがつかみ取れる環境と手助けが大切と思っている

㉕ 子どもの育ちの状況を確認、保護者の意見も聞いて、個別支援計画を半年に1回は見直し、作成しているか

- ・職員全員で見直しを行っている
- ・保護者からの意見を積極的に聞いて行かねばと思う

㉖ 会議や研修会を定期的にかけて、子ども理解や実践などについて深めたり、学習しているか

- ・毎月2日間をかけて職員全員が全員の子どもの個々の状況を発表し確認を行っている
- ・職員会議時に重要な内容については、研修会と位置付けてプリントを配布し学習

㉗ 子ども理解や実践についての外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか

- ・全国放課後活動連絡会・全国障害者問題研究会・埼玉放課後連・埼玉学童保育連絡協議会を主に積極的に参加している

㉘ 子どもが入会するとき、運営規定、活動の内容、利用者負担などについて丁寧に説明しているか

- ・一通りの説明はしているが不十分な点は多く、保護者の方との時間の調整も難しいのが

現状。

- ②9 **保護者の言葉の内側に込められた思いや願いをくみ取ろうとして懇切に対応しているか**
 - ・表面的な表現については懇切丁寧に対応するように心がけているが、内面理解は難しいと感じている
- ③0 **保護者との面談を行うなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取っているか**
 - ・出来るだけ常勤3人で対応し、常勤で相談しながらより深く聞き取っていきたいと思っている
- ③1 **保護者に子どもや活動の状況を報告する機会をつくっているか**
 - ・通信で発信しているが、今年度はコロナ関係で保護者会での子どもの近況報告などは出来ていない
- ③2 **保護者から、子どものことで悩み等の相談があったときは、懇切に応じているか**
 - ・パートさんにも相談されることもあり、職員全体での共有を図っている
- ③3 **会報など定期的に作って、活動の状況を知らせたり、保護者の交流促しているか**
 - ・通信では、活動予定等をお知らせしているが、保護者交流の観点では難しい
- ③4 **苦情などの意見を寄せられた時は、懇切に対応し、改善策を速やかに伝えているか**
 - ・職員全体の問題として取り組んでいる
- ③5 **保護者が自主的につくる父母会に協力するなどして保護者同士の繋がりを作っているか**
 - ・常勤3人で積極的に行っているが、今年度はコロナのため開催できていない
- ③6 **親子行事や兄弟会などを行って、保護者・家族が交流を深める機会を作っているか**
 - ・毎年、親子バス遠足やバーベキューなどで交流を深めている。そこに兄弟も参加してくれるため、兄弟同士の交流なども積極的に行っていきたいと思っている

関係者・関係機関との連携

- ③7 **障害児相談支援事業所の担当者で連絡をとっているか**
 - ・複数の相談支援事業所と関わっているが、温度差があると感じている
- ③8 **学校の年間計画、行事、下校時刻、送迎の方法などを確認しているか**
 - ・学校側が学校連絡会を開催しているため参加している。また、コーディネーターなどにもお尋ねし把握に心がけている
- ③9 **学校の行事などに参観して、学校での子どもの様子を把握しようとしているか**
 - ・パートも含め、職員全員で積極的に参加し成長を喜び合っている
- ④0 **学校と支援会議などを行って、子どもについて意見交換を行っているか**
 - ・問題があった時には、保護者と共に支援会議を学校にお願いして行っているが、本来は年に1回は全員の子どものことについて行いたいと思う
- ④1 **協力してもらえる医療機関と協定を結んで、子どもの病気やケガに関する緊急の事態に対応できるようにしているか**
 - ・頼りになる地域の病院にお願いしている
- ④2 **学校入学前や卒業後の諸機関と必要に応じて連絡を取っているか**
 - ・卒業後の施設から相談がある
 - ・入学前の発達支援事業の様子を事業所にお尋ねすることがある
- ④3 **地域住民に活動を理解してもらうための手立てを取っているか**
 - ・畑や敷地を借りたりと理解の深い地域に感謝している
 - ・挨拶に心がけている
- ④4 **障害のある子どもの放課後活動に関する連絡会に参加して、情報を共有したりしているか**
 - ・地域連絡会や全国の役員も引き受け、積極的に参加している。特に全国放課後連情報は役に立っている